令和８年第２回定例会　一般会計予算決算常任委員会
総務文教分科会審査記録

１　日　　時　　令和８年６月１８日（木）　午後１時００分
２　場　　所　　市役所　第一委員会室
３　議　　題　　議第１００号　令和８年度村上市一般会計補正予算（第２号）
４　出席委員（６名）

１番	尾形修平君	２番	大滝国吉君
３番	佐藤憲昭君	４番	上村正朗君
５番	富樫光七君	７番	渡辺　昌君

５　欠席委員（１名）
　　６番　　魚野ルミ君
６　地方自治法第１０５条による出席者
　　議長　　三田敏秋君
７　分科会外委員（３名）
　　野村美佐子君　　菅井晋一君　　富樫雅男君
８　説明のため出席した者

副市長	大滝敏文君
総務課長	太田秀哉君
同課総務管理室長	五十嵐　博君
同課危機管理室長	矢部和貴君
財政課長	榎本治生君
同課契約検査室長	斎藤　要君
同課財務管理室長	成田大介君
同課財産活用推進室長	鈴木　郁君
企画戦略課長	山田美和子君
会計管理者	百武靖之君
消防長	瀬賀　誠君
消防本部次長	菅原直巳君
消防本部総務課長	松村博幸君
選管・監査事務局長	前川龍也君
教育長	遠藤友春君
学校教育課長	小川智也君
同課課長補佐	林　洋一君
同課教育総務室長	鈴木祐輔君
同課未来の学校創造室長	中山晴剛君
生涯学習課長	平山祐子君
同課スポーツ推進室長	菅原和英君
同課文化行政推進室長	吉井雅勇君
荒川支所長	阿部正昭君
神林支所長	志田淳一君
朝日支所長	五十嵐忠幸君
山北支所長	森山治人君

９　議会事務局職員

局　　長　　内　山　治　夫
次　　長　　鈴　木　　涉

（午後　１時００分）
分科会長（渡辺　昌君）開会を宣する。

○本日の審査は、議第100号のうち総務文教分科会所管分について審査した後、議第100号のうち総務文教分科会所管分について賛否態度の取りまとめを行う。

日程第１　議席の指定を議題とし、総務文教分科会長（渡辺　昌君）が分科会委員の議席を指定した。

１番	尾　形　修　平　委員	２番	大　滝　国　吉　委員
３番	佐　藤　憲　昭　委員	４番	上　村　正　朗　委員
５番	富　樫　光　七　委員	６番	魚　野　ル　ミ　委員
７番	渡　辺　　昌　委員		

日程第２　議第100号　令和８年度村上市一般会計補正予算（第２号）のうち総務文教分科会所管分を議題とし、担当課長（総務課長　太田秀哉君、財政課長　榎本治生君、消防長　瀬賀　誠君、学校教育課長　小川智也君、生涯学習課長　平山祐子君）から歳入の説明を受けた後、歳入についての質疑に入り、歳入についての質疑終了後、歳出についての説明を受けた後、歳出についての質疑に入る。

歳入

第15款　国庫支出金

（説　明）

総務　課長　　それでは、よろしくお願いいたします。予算書７ページ、８ページをお開きください。15款３項４目１節消防費委託金、説明欄１、自主防災組織等活性化推進事業委託金174万1,000円、こちらは新規でございます。歳出にも計上しておりますジュニア防災リーダー養成業務委託料に対する国庫委託金、補助率10分の10となります。

第16款　県支出金

（説　明）

学校教育課長　続きまして、16款県支出金になります。７目教育費県補助金、説明欄の１ですけれども、地域スポーツクラブ活動体制整備事業補助金1,622万円を計上しました。部活動の地域展開に係る補助金でありまして、４月に入って平日も含めた地域展開等の加速化のための重点課題対応分、補助率が10分の10になりますけれども、こちらが正式に示されたことを受けて補正で追加するものであります。続きまして、説明の２、地域等と連携した探求プロジェクト補助金75万円です。アントレプレナーシップ教育の推進のためのソフト事業補助金であります。補助率は10分の10です。市内の中学校３校が事業実施を申請するものであります。説明欄の３、文化芸術振興費補助金42万4,000円、こちらは部活動、文化部の地域展開に係る補助金で、補助率は３分の２になります。文化部、吹奏楽ですけれども、こちらの指導者謝礼等に対す

る補助となっております。

第20款　繰越金

（説　明）

財政　課長　　続きまして、20款繰越金の前年度繰越金は、今回の補正予算の財源として6,007万8,000円を計上いたしました。歳入については以上でございます。

歳入

第15款　国庫支出金

（質　疑）

（「なし」と呼ぶ者あり）

〔分科会外委員〕

（「なし」と呼ぶ者あり）

第16款　県支出金

（質　疑）

富樫　光七　　８ページの教育費県補助金の説明欄の２番なのですけれども、地域等と連携した探求プロジェクト補助金、これ、すごくいいことだなと思うのですけれども、アントレプレナーシップって内容的にはどんな形で何校ぐらいを予定しているのでしょうか。

学校教育課長　アントレプレナーシップ、前ですと起業家教育というような名称で言われていたと思うのですけれども、今県のほうでもキャリア教育の少しバージョンアップといいますか、そういう意味でアントレプレナーシップ教育というのに力入れています。狙いとしましては、起業家的な資質、例えば情報収集能力ですとか、分析力、判断力、あとリーダーシップやコミュニケーション能力、そういった部分の育成に取り組みたいということでこういった事業が立ち上がっています。市内の中学校３校、荒川中学校と村上第一中学校と村上東中学校が事業に申請をする形になります。

富樫　光七　　さっきの質問の続きなのですけれども、75万と計上されていますけれども、これはインストラクターか何かの講師料か何かで75万ですか。

学校教育課長　歳出のほうに実際の中身が計上されています。14ページのキャリア教育推進事業経費、こちらに記載されているものがその費用の中身になります。

〔分科会外委員〕

（「なし」と呼ぶ者あり）

第20款　繰越金

（質　疑）

（「なし」と呼ぶ者あり）

〔分科会外委員〕

（「なし」と呼ぶ者あり）

歳出

第２款　総務費

（説　明）

総務　課長　　それでは、予算書９ページ、10ページをお開きください。２款１項１目一般管理費、説明欄１、一般管理経費の借地料27万円につきましては、駐車場用地として借り上げている借地につきまして、令和８年７月からの借地料の値上げの申出がありまして、月額３万円増となることから、補正要求したものでございます。続きまして、説明欄２、本庁舎管理経費257万4,000円、修繕料200万につきましては、高置水槽の漏水、正面玄関前タイル波打ちの対応等により、今後の修繕費に不足が見込まれるため、予算計上させていただきました。また、機器等設置撤去手数料につきましては、今後予定しております庁舎空調設備改修工事に伴い、機械警備機器の撤去を要するため、このたび予算計上をさせていただきました。

第９款　消防費

（説　明）

消　防　長　　それでは、13、14ページを御覧ください。９款１項１目常備消防費です。説明欄１、常備消防総務一般管理経費、被服購入費ですが、平成16年から平成30年までに購入し、職員に貸与した防火衣について、経年劣化に加え、耐用年数を経過しており、新ガイドラインに準拠した防火衣への更新購入のため、補正をお願いするものでございます。説明欄２、消防庁舎管理経費860万円は、神林分署庁舎の建設に係る財源について、起債の充当を検討するに当たりまして、耐震診断結果が必要となることから、測量設計等委託料といたしまして660万円を計上させていただいております。また、工事請負費200万円は、老朽化が著しい分署庁舎の職員の職務環境を確保する必要があるため、庁舎内の改修費として補正をお願いするものでございます。

総務　課長　　続きまして、９款１項５目災害対策費、説明欄１、防災対策一般経費でございますが、歳入でも触れましたジュニア防災リーダー16名分、市内中学校８校分の養成業務委託料のほか、ソーラーライト４か所分の修繕費、ただいま保管中の低濃度ＰＣＢの搬出処分経費、除排雪に使用する除雪機を購入する自治会への補助金を計上いたしております。続きまして、説明欄２、防災行政無線管理経費70万でございますが、同報系防災行政無線、再送信設備、北赤谷地内のものですが、こちらの修繕費と不時修繕費を計上してございます。

第10款　教育費

（説　明）

学校教育課長　続きまして、第10款教育費になります。10款１項２目の事務局費になりますけれども、部活動地域展開経費948万8,000円を計上しました。地域スポーツクラブに対する委託料の増額になっております。増の主な内容としましては、定期活動や大会参加時の旅費、交通費、それとアフタースクールの指導者謝礼等を増額するものであります。続きまして、３目教育振興費の説明欄１、教育振興経費、スキー授業サポート業務委託料214万7,000円を計上しました。学校のスキー授業を支援するための委託料です。内容は、インストラクターによる指導とリフト使用料の一部を含めて委託するものであります。委託先は、蒲萄スノーリゾートを予定しております。全小学校にアンケートをして、スキー授業を実施したい、または検討したいと回答の

あった５校分を計上させていただきました。説明欄の２、キャリア教育推進事業経費75万円、先ほどもお話ししましたけれども、市内中学校３校で地域と連携してアントレプレナーシップ教育の事業を実施するための経費をそれぞれの科目で計上させていただいております。荒川中学校では、飲食店と連携をしてフードロス削減に対する活動をしたいという内容でありますし、村上第一中学校は、夢とかキャリアということをテーマにした講演会をやりたいという内容です。村上東中学校は、事業所と連携をしてオリジナルの土産物作成体験をやる事業を予定しております。

生涯学習課長　15ページ、16ページをお開きください。４項６目社会教育施設費、説明１、郷土資料館三の丸記念館運営経費の指定管理料403万円につきましては､村上祭屋台行事のユネスコ無形文化遺産追加記載を受け、郷土資料館に正職員１名を配置し、職員体制の拡充を図るための増額補正となります。

第14款　予備費

（説　明）

財政　課長　　14款予備費については、端数調整のための計上であります。以上でございます。

歳出

第２款　総務費

（質　疑）

尾形　修平　　この借地料なのだけれども、場所、どこですか。

総務　課長　　藤基神社向かい側の旧足利商店のところの駐車場になります。

尾形　修平　　これ、３万円増額で、およそ９か月分だと思うのだけれども、時期的にちょっと半端なのではないかなと思うのだけれども、その辺いかが。

総務　課長　　本来ですと、当初予算に盛りました、その金額でいく予定だったのですけれども、今年度に入りまして、４月以降になりまして、貸主から申出がありまして、年度途中の更新ということで依頼されたというものでございます。

〔分科会外委員〕

（「なし」と呼ぶ者あり）

第９款　消防費

（質　疑）

尾形　修平　　施設管理料のほうなのですけれども、この消防庁舎の管理費、測量設計委託ということで神林分署ということだったのだけれども、候補地として、どちらを選定されたのでしょうか。

消　防　長　　候補地の選定につきましては、まず今回、測量設計委託料で耐震調査業務が終えてから、また調査するような形になっておりまして、現状では現地の建て替えと、または支所の付近、また国道７号付近を検討しているという形になっております。まだ決定はしていないということでございます。

尾形　修平　　では、今やる委託料というのは、現状の分署の耐震をするための委託料なのですか。

消　防　長　　今回の耐震診断の委託料につきましては、有利な起債を利用するに当たりまして、構造耐震判定指標の値が必要だということで、それの調査になります。

尾形　修平　　何かもったいないようなお金に聞こえるのだけれども、私らの思いでは、あくまで

も今の分署ではなくて、違うところに移転するのではないかなというふうにずっと理事者からの説明もそうだったし、思っていたので、この今の現状の分署を診断してもどうなのかなという思いがあるのだけれども、その辺いかがでしょうか。

消　防　長　　やっぱり財源がかなり有利な起債がございますので、庁舎建設に当たりまして、この診断結果を用いて有利な起債を利用できれば、予算的にも非常にいいということで、その辺をまずは診断させていただきまして、その後の、要は庁舎の建設の調査に入らせていただきたいというふうに今考えているところであります。

財政　課長　　この耐震診断の意味というかでありますけれども、現在の消防庁舎が耐震性がなくて、それでどこかに移動しなくてはならないところも含めて、まず耐震診断が、要は悪い数値ということで、Ｉｓ値でいうと0.6以下となった場合については、耐震補強ももちろんなのですけれども、改築で隣に建てるとか、別なところに移動する場合についても、有利な起債ということで緊急防災・減災事業債、これについては充当率100%、交付税措置70%ということで、優良債と言われるものなのですけれども、これの可能性が出てくるというようなことで、７割のバックのある起債ですので、その調査を行わないとということで、それをやることということで先行して調査するというような形になっております。

尾形　修平　　予算の理由はよく分かりました。今年この耐震の診断をやって、その後のスケジュール感というのはどういうふうに考えられるのでしょうか。

消　防　長　　今後のスケジュールにつきましては、まず耐震診断結果が出てからになると思いますけれども、その後、早ければ今年度中の補正予算、または来年度の当初予算で建設候補地の調査費を計上させていただきたいと考えております。その後に基本設計、実施設計、建設というふうな流れになると思いますけれども、そのほかに用地買収が必要となった場合は、さらに期間が必要となりますけれども、我々としての目標は令和11年度または令和12年度の竣工を目指しているというところでございます。

尾形　修平　　なるべく早くできるようにしていただきたいのが１点と、あとこの下にある工事費に関しては、現状の分署の状況を我々も視察して十分に理解しているのだけれども、建て替えありきとすれば、必要最低限のところで収めてもらえればなというふうに思っていますので、よろしくお願いしたいと思います。

佐藤　憲昭　　１点確認させてください。この耐震診断は660万、捨て石という形になるかどうか分かりませんが、これの耐震診断を行う委託先ですが、市内の業者ということで考えてよろしいでしょうか。

消　防　長　　現時点で御相談させていただいているのは、市内業者ではないということでございます。

富樫　光七　　さっきの何か答弁の中になるほどと思ったのですけれども、シャワー室とか、洗面所の工事請負費200万円計上された中身のことを質問しようかなと思ったのだけれども、何かさっき消防長の話で、令和11年から12年度の完成を目指してということは、もうそれまで五、六年あるわけですから、いや、これはこれであれです。本当は手をかけるのが遅過ぎるか、もったいな過ぎないかなと思って質問しようと思ったのですが、さっきありましたので、分かりました。ありがとうございます。

上村　正朗　　すみません、細かいことで。耐震診断の調査なのですけれども、一般財源ですよね、みんな。660万か。それで、基準を満たすことができれば有利な起債借りられるので、660万かけてもいいのですけれども、見込みとしては大体有利な起債、借りられるような数値が出そうだなという見込みでやるのでしょうか。

財政　課長　　100％とは言えないのですけれども、建設の年次からいうと、おおむねというか、Ｉｓ値については低い値が出るのでないかということで話は聞いておりまして、それを基に予算計上させていただいております。

富樫　光七　　今の耐震診断の件に絡んでなのですけれども、耐震診断というのは建物に対する耐震なのですか、それとも地盤に対する耐震の成果を出そうとしているのでしょうか。

消　防　長　　建物に対する耐震診断でございまして、建物の構造耐震判定指標というのがございますけれども、建築基準法が、神林分署の建物は新しく変わった建築基準より前の建物でございまして、かなり建物の耐震の状態はあんまりよくないというふうに聞いております。ですので、耐震診断の結果は恐らくあんまりいい結果は出ないとは思いますけれども、この耐震診断の依頼につきましては、建物の部分でありまして、地盤の部分ではないということでございます。

富樫　光七　　耐震のものが地盤ではなくて建物だという今お話を聞いたのですけれども、これ660万円というお金、例えば村上市であると住宅の診断すると１万円で検査してくれる制度って今もあるかな。五、六年前はあったと思うのですけれども、あれが１万円で済むのに、神林分署のあそこに660万というのは、何かそれから比べると、やけに高いような気がするのですけれども。診断だけでしょう。

（「１万円でできるということではないよ」と呼ぶ者あり）

富樫　光七　　いや、１万円でやってもらっていましたよね。

（「違う。１万円は補助金」と呼ぶ者あり）

富樫　光七　　補助金が１万円。

〔分科会外委員〕

（「なし」と呼ぶ者あり）

第10款　教育費

（質　疑）

尾形　修平　　スキーのサポート事業、市内５校の小学校だよね。中学校ではなくて小学校。蒲萄スキー場の応援のためにもいいかなと思うのだけれども、ちなみに例えば少雪で蒲萄スキー場ではできなくて、例えば胎内であればできるとかとなったときもこの予算は執行できるものですか。

学校教育課長　今予定している委託先がぶどうスノーリゾートを予定しておりますので、少雪でできなければ、ちょっと難しいかなというふうに思います。

富樫　光七　　この中にインストラクター代と使用料も入っているという話でしたけれども、この中の金額の案分的にはどんな感じですか。

教育総務室長　214万7,000円の内訳ですが、リフト使用料相当分としまして43万1,000円、それからインストラクター代としまして158万4,000円、その他諸経費としまして13万2,000円を見込んでおります。

富樫　光七　　希望している５校分を何か計上したのだということでしたけれども、これは小学校だけのお話だったのですよね。

教育総務室長　小学校５校です。

富樫　光七　　中学校にも義務教育の中の指定は必要だと思うのですけれども、中学校のほうには何か案内出すとか、そういう基準にはなかったのでしょうか。

教育総務室長　現在は、まずちょっと考えていなくて、これまでスキー授業とかをされてまいりま

した小学校を中心にということで考えておりまして、予算のほうも小学校、まずは５校ということで計上しています。

上村　正朗　今のところなのですけれども、スキー授業サポート業務委託料のところなのですけれども、これはぶどうスノーリゾートとその単価とか、全体の額みたいなものは相談といいますか、事前に相談して、これでいいよということで予算計上ということでよろしいでしょうか。

教育総務室長　ぶどうスノーリゾートさんとも協議を重ねてまいりました。例えばスキー授業の道具全部を借りますと、通常は4,000円なのですけれども、スノーリゾートさんのほうでは、市の財産の無償貸与を受けているということを鑑みまして、4,000円のところ、2,000円で持っていない子には貸出しをしたいと。その部分は、保護者負担になるのですけれども。あと、リフト代につきましても、無償貸与を受けているというところも含めまして、下げてくれると。そこに市のほうも民間事業者となりましたぶどうスノーリゾートさんをお借りするので、相応の分ということで、１人当たり1,000円払うということでの予算計上になっております。また、お昼代につきましても、スキー授業の方向けということで、普通よりは若干安くしたいということでの協議重ねた中でお返事いただいております。

尾形　修平　そうすると、保護者負担としてどのぐらい見込んでいるのですか。

教育総務室長　保護者負担としましては、道具を持っていない方につきましては、スキーのウエアと道具を借りまして、フルセット借りて2,000円、その他お昼代として1,000円以下というふうな感じで考えております。この分につきましては、蒲萄スキー場が市営だった頃の金額とほぼ同額になるので、蒲萄スキー場が市営だった頃ぐらいまでは負担を下げられるというふうに思っております。

尾形　修平　今まで市営でやっていたときと同じ基準だというお話なのだけれども、教育委員会のほうでは、スキーを持っている、スキーウエアを持っている生徒と、それ以外の生徒というのは何対何ぐらいでいるものですか。

教育総務室長　正確な数字ではないのですが、朝日地域の小学校の教頭先生に伺ったら、コロナ前につきましては、持っている子が大半だったのだけれども、コロナで一旦スキー授業とか、そういうのがちょっと途絶えてしまって、スキー利用する方も少なくなってしまって、今だと七、八割借りるのではないかななんていうお返事はいただいております。

尾形　修平　ちなみに、これ、何年生を対象にしているのですか。

教育総務室長　一応３年生以上ということで考えております。ただ、ぶどうスノーリゾートさんのほうからは、１、２年生についても、スキーを滑るではないのですが、下の平らなところで遊ぶために、そこはもう無料で開放したいということをおっしゃってくれていまして、学校のほうにも提案しましたら、それだったら１、２年生、連れていきたいというような学校もありました。

尾形　修平　これ、老婆心ながらの質問なのだけれども、委託するということは、このスキー授業の中で、仮に事故、けが等が発生した場合は委託先の責任になるのですか。

教　育　長　学校管理下の活動ですので、委託先ではございません。

上村　正朗　今回小学校が対象ということなのですけれども、中学校はこういうのを利用する場合には何か支障があるのでしょうか。

学校教育課長　以前、村上第一中学校がスキー授業をやっていたという、結構前に遡るわけですけれども、やっていた時期もあると聞いています。今回小学校でやってみて、こうい

った支援策が例年講じられるのであれば、中学校でもやってみたいという意向があるかもしれませんので、校長会等で周知を図っていきたいというふうに考えています。

佐藤　憲昭　　６目の社会教育施設費のほう、よろしいでしょうか。先ほど郷土資料館三の丸記念館運営経費ということで、ユネスコ関連で職員１名を雇うのだということなのですが、これは例えば学芸員とか、そういった識見を有する人を雇用するのか、また８年度のみなのか、期間が限られてくるのか、また土日の関係が主な業務内容となるのか、その辺併せてお聞かせください。

生涯学習課長　これまでも郷土資料館の施設管理におきましては、正規職員が１名しかいなかったということで、正規職員の業務過多というところもこれまでもございました。加えて、今回のユネスコ認定というところを受けまして、やはり郷土資料館の体制をもっと充実すべきだろうということで体制強化を図るものでございます。ですので、ユネスコ特化したというものではなくて、郷土資料館全ての業務、体制において強化を図るということになりますので、そういったことでの１名増員ということでの補正予算でございます。

佐藤　憲昭　　これは、では７月から３月までということですか。

生涯学習課長　説明が足りずに申し訳ございませんでした。実は本当であれば当初予算でこの分も盛り込んで指定管理ということを積算をすればよかったのですけれども、当初うちの課といたしましては、指定管理の期間が今年度末で、８年度末で終わります。１名増員につきましては、本来であれば更新後、令和９年度からの体制ということで考えてございましたけれども、昨年度、今年２月に行われましたイヨボヤの里開発公社での正職員の職員面接において、優秀なというのでしょうか、人材確保が見込めるということで採用に至ったものですから、お一方をおしゃぎり会館のほうに配置をしていただくということで今回補正をしたものでございます。学芸員という資格はあるのかというようなお話ございましたけれども、現在この職員、学芸員の資格は持っておりません。今後、学芸員の資格を取りたいという話もございますけれども、現在のところは持ち合わせていないということでございます。

佐藤　憲昭　　では、確認なのですが、採用はされているのだけれども、この金額が不足するので、補正に計上したということですか。

生涯学習課長　おっしゃるとおりです。

尾形　修平　　14ページの地域スポーツクラブ活動体制整備委託料、これ具体的に中身についてちょっと教えてもらえますか。

学校教育課課長補佐　この中身につきましては、スポーツ活動費の送迎費用のほうが補助金で見込まれましたことによって、その増額分を今回補正するものでございます。当初予算では、既決予算3,369万円を当初予算に盛っていたのですが、その旅費がついた分に、文化活動の新規のほうで補助金の予定がつきましたので、それを足して4,254万660円が補助対象の補助金の委託費になりましたので、既決予算を差し引いた中で948万8,000円の補正の要求になっております。

尾形　修平　　これ、県のほうの予算だけれども、これ、新規で今回ついたわけだけれども、来年度以降も継続するという見込みなのでしょうか。

学校教育課課長補佐　このスポーツの地域クラブの展開自体が始まったばかりですので、次年度以降も継続するものと予定しております。

上村　正朗　　それでは、郷土資料館三の丸記念館運営経費で正職員１人増やしていただいたのは

大変ありがたかったと思うのですけれども、前、課長にも個別にちょっとお願いしたこともあるのですけれども、要は今年ユネスコに正式に追加登録されて、おしゃぎりを見に来る市外の方も大変多くなると思うのですけれども、あそこのガイド機能が非常にやっぱり弱いというか、全然ガイドしてくれないよという話が私のところに入ったので、私も知らん顔して行ったのですけれども、市内の人ですか、市外の人ですかと聞かれただけで、展示についてのガイドは全くされなくて、ああ、これでは何か観光客がたくさん来る中で、もうちょっと丁寧に展示物だとか、村上の祭りの歴史だとか、由来だ、いろんなものを丁寧にガイドするような体制が必要なのだろうなと思うのですけれども、その後、その辺、強化というか、充実していただいたのか。

生涯学習課長　上村委員のお話にもございました、お話をいただきました。また、対応が素っ気なかったというような声も聞こえてきたものですから、こちらのほうから郷土資料館のほうには、ぜひ積極的にお声がけをして、何かお困り事がございますか、説明はどうしましょうかみたいなところで積極的に声をかけるようにというようなことで郷土資料館のほうにはお話をしたところなのですけれども、ただ郷土資料館は三の丸記念館だけではなく、縄文の里・朝日ですとか、イヨボヤの里開発公社で指定管理を受けている施設多々ございますので、イヨボヤの里開発公社にも改めて職員の接遇マニュアルというのでしょうか、接遇対応というのでしょうか、そういうところをしっかりするように指導させていただいたところでございます。

上村　正朗　それは、ぜひお願いしたいと思います。そのときもちょっと話ししましたけれども、観光ガイド会の活用というか、土日、人手が多くなるような時間帯だけでも、その辺に精通したガイドの方の配置とか、そういったことはやっぱりなかなか難しいものでしょうか。

文化行政推進室長　今の件につきましては、ちょっと観光ガイド、観光課サイドの所管なのですけれども、ちょっと具体的にまだ検討はしておりませんので、今のお話いただきましたので、持ち帰って観光課とちょっと協議させていただきまして、かなうようなことを検討したいと思います。

富樫　光七　さっきのスキー場のほうに戻って悪いのですけれども、中学校の話、さっき質問されましたけれども、義務教育が終わると、みんながいろいろ、あっちこっちに散らばっていって、なかなか地元の小さいときの記憶というのは残りにくいので、義務教育のうちに、中学校にもやはりスキー教室というのはあってほしいなと、私の経験から思いますので。それ、アンケートを取るのかどうかも含めて、一度、今年のうちにでも意向を聞いてほしいというのと、１つの質問は、ここに県拠出金といって、２割程度ですか、３割程度ですか、何か75万円が計上されていますけれども、これ、中学生がもしその事業を取り入れるといった場合でも県支出金というのはいただけるようなルールになっているものでしょうか。

学校教育課長　スキー場のほうは、先ほども申し上げましたけれども、周知を図って、中学校サイドのニーズがないのかというのは確認させていただきたいというふうに思います。今の75万円の、こちら、県の補助事業、今年新規で立ち上がったもので、県内10校を予定しているのだそうです。そのうちの３校が村上市から希望が上がってきたということなので、今後継続されていくのだろうなとは思いますけれども、そこはちょっと県のことなので、自分のほうでははっきりした方向づけというのは分かりません。

〔分科会外委員〕
（「なし」と呼ぶ者あり）

第14款　予備費
（質　疑）
（「なし」と呼ぶ者あり）

〔分科会外委員〕
（「なし」と呼ぶ者あり）

（自由討議）
（「なし」と呼ぶ者あり）

（賛否態度の発言）
（「なし」と呼ぶ者あり）

以上のとおり質疑、自由討議、賛否態度の発言を終結し、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第100号のうち総務文教分科会所管分については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定した。

○以上で本分科会に付託された案件の審査を終了し、本分科会の報告を分科会長に一任することを決め、閉会する。

分科会長（渡辺　昌君）閉会を宣する。
（午後　１時４４分）